

## 9 地方創生支援に関する取組

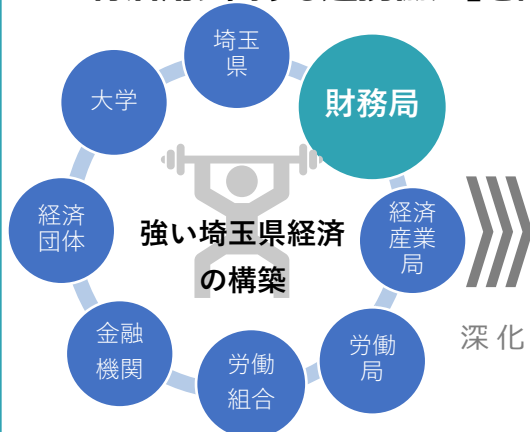
地方公共団体等が抱える地域の課題やニーズに対して、財務局の業務やネットワークを活用して、地域活性化や地方創生に向けた支援を行っています。

# 関係機関と連携した地域企業の人材課題解決に向けた取組

関東財務局は、地域企業の人材課題解決に向けて埼玉県、関東経済産業局及び埼玉労働局と「シニア人材活用に関する連携協定」を締結。その一環として地域企業の人材課題解決に向けた「埼玉県版新現役交流会」を開催。

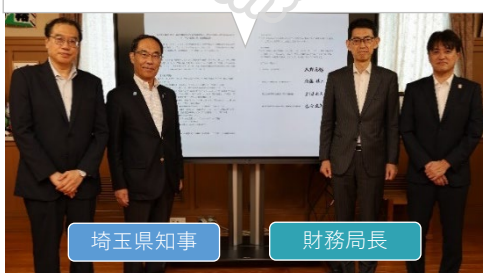
## 概要

- 埼玉県内の産学官金労の関係者が連携する「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」に参画し、人材課題解決に向けて議論。
- 関東財務局は、**経済調査で把握した人手不足に関する企業の声や、地域金融機関向け人材関連施策活用セミナー**等の情報を提供し、**埼玉県の取組を後押し**してきたところ。
- 加えて、更なる連携強化として、埼玉県、関東経済産業局及び埼玉労働局と「**埼玉県内の中小企業の課題解決に向けたシニア人材活用に関する連携協定**」を締結し、取組を深化。



【埼玉県戦略会議のイメージ】

1. 社会で活躍し続ける意欲とスキル・ノウハウを持つシニア人材への支援
2. シニア人材により経営課題の解決を図ろうとする県内中小企業への支援
3. シニア人材と県内中小企業とのマッチング など

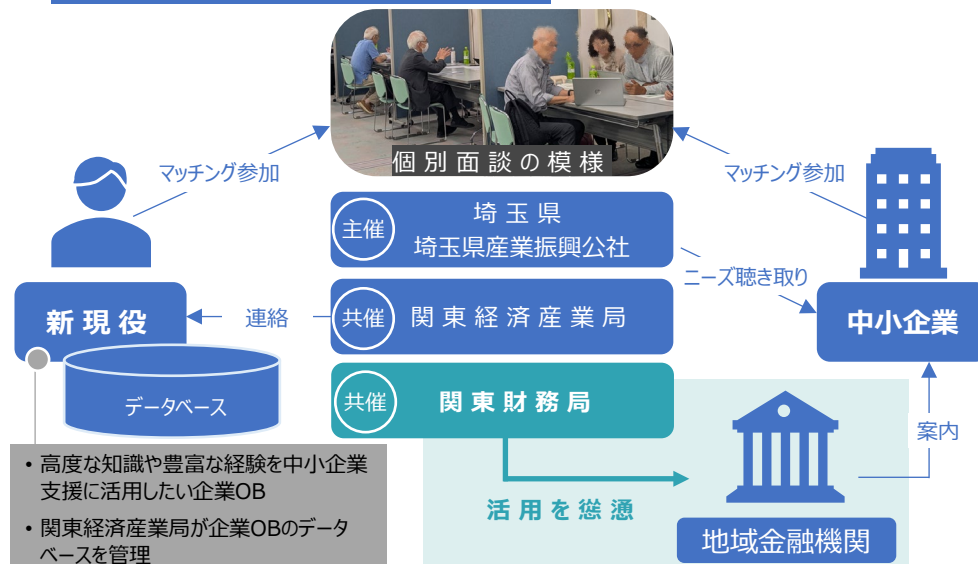


【連携協定締結式の様子(令和7年9月)】

## 取組の成果

- 連携協定に基づき、**知恵を出し合いながら**、関東経済産業局の支援策である「新現役交流会」を開催。関東財務局から、地域企業の課題を把握している**地域金融機関に対し、活用を促した**。
- 新現役交流会に参加した県内中小企業では、「求める人材像」と「シニア人材の強み」が一致し、**採用に至るケースも見られた**。

### 埼玉県版新現役交流会の概要



# 共創マッチングピッチOSAKA～地域がつなぐアフター万博の未来～

大阪・関西万博の成果を一過性にせず、地域の活性化につなげていくことを目的として、万博のテーマに合致する分野(医療・健康と環境)で公民連携の推進を支援するピッチイベント及び名刺交換会を開催。

## 概要

- 大阪府内の地方公共団体から事前に把握した『企業と連携して解決したい地域課題(医療・健康、環境分野)』を基に、その解決策を提案できる万博出展企業等を、**金融機関が取引先企業の中から選定して参加。**
- ピッチ(ショートプレゼン)プログラムでは、イベントに参加している地方公共団体の公民連携担当者等に向けて、まず金融機関から選定した企業等について紹介し、その後、企業より地域課題の解決策について説明。



【ピッチ(ショートプレゼン)の様子】

## 【イベント概要】

開催日：令和7年11月17日(月)

参加者：地方公共団体、金融機関、スタートアップ企業等約120名

内容：第1部 ピッチプログラム(医療・健康分野)  
名刺交換会  
第2部 ピッチプログラム(環境分野)  
地方公共団体によるリバースピーチ  
名刺交換会 等

## 取組の成果

- 地方公共団体とスタートアップ企業等との**連携のきっかけを創出**ことができ、**万博で披露された新技術・サービスの実装化の一助に貢献。**
- 上記のほか、地方公共団体と金融機関との連携など、**地域のつなぎ役として、様々なネットワーキングを強化。**



【名刺交換会の様子】



【イベント出席者による集合写真】

## 【参加者の声】

- 金融機関から企業の推薦理由を聞くことができるピッチは初めてで、説得力が増した。
- お会いしたい企業と繋がることができた。
- 企業のピッチが、地方公共団体との連携を見据えたものが多く、今後の連携を想像できた。
- 具体的に連携の打合せを進めることになった。

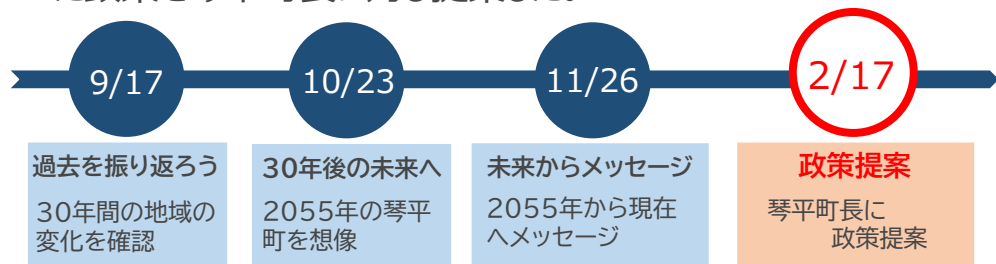
# 琴平町の未来を考える勉強会を開催

香川県琴平町、国及び金融機関の若手職員が、フューチャー・デザイン(※)の考え方により、地域課題に対する政策を琴平町長へ提案。

※社会の様々な課題を考える際、仮想の将来世代になって議論し、将来世代の利益も踏まえた意思決定を行えるようにする考え方。

## 概要

- 琴平町から「職員の視野拡大につながる交流・意見交換の機会を設けたい」、「町の課題を整理し、必要な対応を自ら考え行動に移せるような取組を行いたい」といった依頼があった。
- フューチャー・デザインの考え方によるワークショップを「**フューチャー・デザイン in 琴平**」と題して実施することとし、**議論の質や実効性の向上を図るため、他の国の機関等にも参加提案した。**
- **琴平町、国、金融機関の若手職員** 計16名が4班に分かれ**地域課題への対応策**について検討を重ね、最終回は各班が考えた政策を琴平町長に対し提案した。



**参加者** 琴平町 7名、四国財務局 2名、中国四国農政局 1名、四国経済産業局 1名、四国運輸局 2名、中国四国地方環境事務所 1名、琴平町内に支店のある金融機関 2名 合計16名

## 取組の成果

- 複数機関の参画により、多様な視点を共有しながら課題の洗い出しや政策検討を行うことで、革新的な提案を創出。
- 若者に選ばれる魅力ある地域づくりに向けて、若者視点で考えた本提案は琴平町の中長期的な政策検討に向けた気づきのきっかけを与えるものとなった。



- 他機関の若手職員との協働を通じて、将来的な連携・情報共有の基盤となる人的ネットワークを構築。

【政策提案を終えた参加者たち】

